

2026 年 10 月 15 日

防衛大臣 小泉進次郎 様

統合幕僚長 内倉浩昭 様

**日米共同統合演習「Keen Sword 27」の中止、および
千葉県内での訓練計画の撤回を求めます**

日本共産党千葉県委員会

防衛省・自衛隊は、令和 8 年 10 月 19 日～29 日まで、日米共同統合演習「Keen Sword 27」を実施すると発表しました。自衛隊の参加規模は人員約 45,000 人、車両約 6,100 両、艦艇約 40 隻、航空機約 260 機に及び、千葉県内でも次の訓練が検討されています。

- ① 習志野駐屯地・木更津駐屯地への航空自衛隊高射部隊の機動展開（統合防空ミサイル防衛）
- ② 習志野演習場での陸上自衛隊・米陸軍による空挺降下
- ③ 習志野駐屯地・演習場での基地警備訓練（夜間訓練および空包使用を含む）
- ④ 習志野演習場・習志野分屯基地での CBRN（化学・生物・放射性物質・核）対処訓練
- ⑤ 海上自衛隊下総航空基地（柏市・鎌ケ谷市）への F-2 戦闘機などの展開と離着陸訓練

この間、自衛隊は日米共同訓練のみならず、多国籍の軍隊との共同訓練を大規模に展開しています。戦争で人を殺すことが正当化される軍隊との共同訓練は紛れもなく、自衛隊が軍隊であることを世界に示す行為であり、日本国憲法と相いれません。しかも、実施される訓練の内容はより実践的となり、対艦戦闘や水陸両用作戦を含む米軍との共同演習を重ねることは、アジアでの軍事的緊張を高めます。

習志野駐屯地・演習場、下総航空基地は住宅地の真ん中にあり、夜間訓練、空包の使用、空挺降下、ミサイル部隊の展開、戦闘機の離着陸は、騒音や事故の不安を住民に与えます。防衛省は習志野演習場での「降下訓練始め」での米軍などの降下は「訓練ではなく展示」だと説明してきました。だとするならば、今回の米軍による降下訓練は初となり、習志野演習場での米軍の恒常的な訓練を容認する一歩となりかねず中止すべきです。また、ミサイル部隊を千葉県内の駐屯地に展開することは、有事に標的とされる危険を高め、住民の安全をかえって損なうおそれがあります。

さらに、習志野駐屯地には、米軍が 2 週間以上にわたって滞在することが想定されており、沖縄県での米兵による強盗殺人事件が起きたことをふまえば、米軍の訓練・滞在は中止すべきです。

千葉県は、8 月の豪雨、台風 25 号により各地で大きな被害が出ており、いまだ土砂崩

れ、浸水、通行止めが続いており、多くの県民が復旧・復興の途上にあります。この時期に、莫大な人員・装備・予算を投じる大規模演習を県内で行うことは、被災地の実情にそぐわず県民の理解は得られません。

【要請事項】

1. 日米共同統合演習「Keen Sword 27」を中止すること。
2. 習志野駐屯地・習志野演習場・木更津駐屯地・下総航空基地など千葉県内における訓練計画を撤回すること。
3. 訓練の全容（日時、場所、規模、時間帯、使用する装備・弾薬、安全対策）を直ちに公表し、千葉県および関係市、住民に対する説明会を開催すること。

以上